

講師 齋藤環

筑波大学医学医療系社会精神保健学教授



《開催日時》

8月26日（土）

10:00-12:00

《参加費》

一般2,000円

学生1,000円

不登校 ひきこもりの 対話的支援

全国では不登校が24万人を超え、内閣府調査でひきこもりが147万人と報告されており、各市町村でもひきこもりに対する相談体制が整えられてきているところです。

ひきこもり支援は医療や福祉の枠組みだけでは留まらない、包括的な支援が必要であると感じている方は多いと思います。改めてひきこもり支援とはどのようなことなのか、関わる人が共通意識と共通知識を持てる機会を作りたいと考え、齋藤環先生を迎えて公開講座を開催することとなりました。ぜひこの機会に足をお運びください。

どなたでもご参加いただけます。詳細は裏面をご参照下さい。

齋藤環 (さいとう たまき) 先生 プロフィール

1961年、岩手県生まれ。

1990年、筑波大学医学専門学群環境生態学卒業。医学博士。

爽風会佐々木病院精神科診療部長(1987年より勤務)を経て、2013年より筑波大学医学医療系社会精神保健学教授。

日本思春期学会理事、日本病跡学会理事。2021年より公益社団法人青少年健康センター会長。専門は思春期・青年期の精神病理、精神療法、および病跡学。

《著書》

「文脈病」(青土社)、「社会的ひきこもり」(PHP研究所)、「ひきこもり文化論」(紀伊國屋書店)、「生き延びるためのラカン」(ちくま文庫)、「ひきこもりはなぜ『治る』のか?」(中央法規出版)、「ひきこもりのライフプラン」(島中雅子氏との共著)岩波書店「オープンダイアログとは何か」(医学書院)など。

また、訳書にヤーコ・セイックラ他著「開かれた対話と未来」(医学書院)がある。

《受賞歴》

『関係の化学としての文学』(新潮社) 2010年度日本病跡学会賞

『世界が土曜の夜の夢ならヤンキーと精神分析』(角川書店)

2013年 第11回角川財団学芸賞

『心を病んだらいけないの?うつ病社会の処方箋』(新潮選書)

2020年 第19回小林秀雄賞



開催概要

開催日時：令和5年8月26日(土) 10時～12時

※ 終了から一定期間、オンデマンド視聴可能

会場：新町キューブ3階会議室 (青森市新町2丁目6-25)

参加費：一般 2,000円 / 学生 1,000円

- ・ 会場にてお支払い下さい。
- ・ オンデマンド視聴のみご希望の方は申し込みフォームにてその旨お申し出下さい。

お申し込み方法： 下記フォームをご利用下さい。

<https://forms.gle/vkN9b2YDqPfq6adB9>



申込期限： 令和5年8月11日(金)

〈お問い合わせ〉

青森県公認心理師・臨床心理士協会事務局 (担当：相馬)

Email jimu@aomoriscpp.jp